

# 介護老人保健施設しおさい

症 例 概 要 90代 女性 要介護5

病 名：高血圧 脂質異常症 糖尿病 Ⅲ度完全房室ブロック

ペースメーカー埋め込み 脳梗塞

利用サービス：令和3年6月～長期入所

経 過：脳梗塞後遺症で長期入所されているご利用者がCOVID-19発症後全身状態が衰退してしまい心配されているご主人に職員が寄り添い外出支援を通して笑顔が戻りご利用者には輝きの1日を ご家族には安心を超えた感動を感じて頂け、職員にはやりがいと成長の場を頂くことができた症例。

## 内 容

令和3年から脳梗塞後遺症で長期入所されているご利用者です。失語症の為、発語はないものの、優しい笑顔で周囲を和やかにしてくれます。食べることを楽しみにされていてご主人が、面会に来られると手をつなぎ、笑い合っ、穏やかな時間を過ごしていました。

しかし、令和6年12月に、COVID-19を発症。肺炎症状が続き、食欲の低下が著しく進行し以前のような優しい笑顔は消えてしまいました。

肺炎が回復した後も、状態が回復せずご主人は大変心配されていました。以前、「畑に連れて行きたい」とお話しされていたため外出のご提案をすると、最初は「この状態で行っても分からないだろうから」と否定的な言葉が聞かれていましたが、職員が寄り添い励ますことで、「行ってみたいかな」と肯定的な感情に変化してきました。

天候の良い日に外出支援を実行しました。畑に到着し、ご主人が「分かるか?分かるか?」話し掛けられると、表情がパッと輝き、しっかりと頷かれ、久々に意思表示して下さいました。「大好きだったみかんを食べさせてやりたい。」と言われた為、みかんをもぎ取り、そのままお口へ近づけると、笑顔で1個完食されました。その姿にご主人と職員は、幸せな時間を過ごすことが出来ました。帰設後には食事が回復。表情も柔らかくなり美味しそうに召し上がる姿が見られるようになりました。

さらに、2月22日はお2人の71回目の結婚記念日。職員がご利用者にお化粧を施し、お部屋を飾りつけ、お祝いをさせていただくとご主人は涙を流して喜ばれました。

この支援を通してご利用者とご主人の大切な時間に寄り添い人生の輝きを取り戻すお手伝いが出来た事に大きな意味を感じています。職員の親身な対応と心を込めた支援が生きる活力をもたらし、ご利用者には『輝きの1日を』ご家族には『安心を超えた感動を』に繋がり、職員には『やりがいと成長の場を』いただくことが出来た症例となりました。